



京丹後市障害者相談支援事業所 結
京丹後市峰山町杉谷 770 番地

0772-69-1040

発行責任者 管理者 小谷 美紀

第5号 2018. 7. 25

☞長年に渡り福祉に携わり、京都府北部の福祉事業を創ってこられた方々をご紹介します。



福祉と私



佐々木 稔 さん



元宮津共同作業所（現すまいる）所長

今年 10 月で 87 歳、昔のことがなかなか思い出せんようになった…。

元々教員志望だったため立命館大学卒業後、教職に就いた。本庄、養老、江陽、宮津中学校で国語と社会を教えていたが、宮津に赴任して 2 年目に障害児学級を受け持った。初めは何のことかさっぱりわからなかったが、校長先生から「君ならできる」と言われ、2 学級を 2 名で担任し、それが障害者問題にかかわる始まりとなった。

この頃から宮津共同作業所へ出入りするようになり、当時は指導員の山口薫さん（現よさのうみ福祉会監事）が一人でやっていた。「仲間」が作った皿や作品をどうやって売ろうか考え、宮津地労協の会議の場や、宮津夜の市での販売会等で売らせてもらった。それが、バザーへと発展していった。『宮津障害児者を守る親の会』の活動も親と一緒にした。当時は補助金がなく、運営資金をどうやってつくるかは大きな問題であり市へ要望もした。そんな中、もう少し専門の勉強をしたいと考え「養護学校」の教員を希望した。ところが、関係者から「やめといたら」と言われた。おそらく障害児教育の大変さを思っ言ってくれたのだと思う。

養護学校では青年期教育部に配属された。養護学校を卒業して地域で働いている障害者がひとりぼっちにならないようにとつくられた『青年学級』にも参加し、毎週土曜日に指導者とともに活動した。3 年後に寄宿舎に舎監（責任者）として異動となってからも、毎晩のように宮津共同作業所の会議に参加した。

認可施設を作る事務局の仕事も手伝っていた頃、市から「来年あたり認可施設をつくるか？」と言われ 2500 万円の資金作りが始まった。どうやって作るのか、できなかったらどうするか悩みながらも、一軒一軒カンパを頼みに歩いた。また、古紙回収やバザー

も行き、地域の多くの人達の応援を得ながら取り組んでいった。「行政とは仲良くせんなん。いつかはわかってくれる」と、一緒に活動していた戸田晋さん（親であり元よさのうみ福祉会理事長）から言われた言葉が印象的であった。他にも認可に向けた取り組みとして、全障研やきょうされんにレポートを持っていき、取り組み状況の報告もした。

57歳で教員を退職し、みやづ作業所が認可になった平成元年に、無認可の宮津共同作業所の所長をすることになった。しかし、無認可の在籍者が全員認可施設を利用できず、精神障害の人たちは無認可に残った。認可・無認可同一敷地内での生活は全国的にも例がない取り組みだった。

そして、本来の親の願いであった『労働生活施設』づくりが始まった。親も行政も頑張り、運動がどんどん広がっていったことが、やる気につながった。また、地域の人たちも少しずつ変わっていったように感じた。

65歳で退職し、その後もボランティアとして作業所へ出向いた。しばらくすると夢織り郷の職員からも声をかけられてボランティアをした。みやづ作業所、夢織りの郷、どちらも重度の人たちとのかかわりが主だった。それがもう10年前の事。嫌だったら行かんけど、楽しかったから続けられた。丁度その頃、野田川共同作業所の事務局も頼まれ、会議に参加していた。

振り返ると反省することばかり、至らないことが沢山あったと今でもよく思う。あんな頭ごなしに言うもんじゃない。何がしたかったのか、何が言いたかったのか、その人の思いをいかに聞き取れるか、支援者のテクニックにかかっている。

福祉そのものが社会的弱者にとってはとても大切なもので、長い目で地道に、地域の人と一緒に取り組んでいくことで実っていく。それが地域づくりでもあると思っている。福祉も時代とともに変わってはきているが、今の日本の政治は弱者の切り捨てだ。生存権、生活権…基本的人権が侵されていく。働かせ改革やめて欲しい。

障害者の親は、自分たちが亡くなったら子供たちはひとりぼっちになってしまうとみんな心を痛めているが、そうではなく、楽しく旅行ができたりごちそうを食べたり、障害者の希望が叶い、生活が豊かになるよう保障されないといけない。そういう社会であるべきだと思っている。

もう何もできない。「わしはいつまで生きるんやろう」と医者に聞くが、「そればかりはわからん」と言われている。



きょうされん第41回全国大会in京都

プレ企画B 丹後ブロックバージョン

2018年9月21日～22日に行われる
きょうされん第41回全国大会in京都に先駆け、
6月29日、たくさんの仲間が野田川わーくぱる
に集まり丹後ブロックのプレ企画Bが行われま
した。なんと**375人**もの参加者があり、おほ
いに盛り上がりました！！

わが街自慢の報告では、ステージ上で各事業所
から街の特産品や名所の紹介がありました。
与謝野町は町長を紹介するなど、それぞれ工夫を
凝らした発表でした。丹後には素晴らしい物・
場所・人・歴史があることを再発見しました。

第41回全国大会in京都の紹介動画を観た後、
テーマソング“みんないっしょずっといっしょ”
を大合唱しました。実行委員の紹介と全国大会へ
の意気込みも語られ、本格的な夏を前に
“熱い熱い”プレ企画となりました。



まごころ

みなさん、おそろいで
京都へおこしやすー！

第41回全国大会in京都

とき；2018年9/21（金）

／9/22（土）

ところ；国立京都国際会館



京丹後結で がんばります！ よろしくお願ひします！

～ 職員紹介 ～

5月に異動し3か月がたちました。新しい環境に緊張もありましたが少しずつ慣れ、移動中のきれいな景色にも癒されています。

気持ちが焦るときもありますが、ゆとりをもって、笑顔でがんばります。どうぞよろしくお願ひいたします。



志月 友美
しづき ともみ

5月に、異動してきました武田です。支援員から相談員に・・・と言われた時は、本当にびっくりしましたが、異動して3か月がたちました。毎日わからない事ばかりですが、様々な方に支えていただき、これからも頑張ろうと思っていますので、どうぞよろしくお願ひ致します

♥(●-ω-●) ♥(●-ω-●) ♥(●-ω-●)



武田 麻衣
たけだ まい

十数年ぶりに、またよさのうみ福祉会にお世話になることとなりました。皆さんとのご縁を嬉しく思っています。だいぶ年をとりましたが『初心忘るべからず、実るほど頭を垂れる稲穂かな』を座右の銘として、一から勉強していきたく思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。



廣野 久美子
ひろの くみこ